

放射性同位元素装備診療機器設置予定届

年 月 日

(あて先)

一宮市保健所長

病院
(診療所) 所在地
名称
管理者氏名

下記のとおり、放射性同位元素装備診療機器を備えます。

記

1 放射性同位元素 装備診療機 器に関する事 項	製 作 者 名		
	型 式		
	台 数		
	放 射 性 同 位 元 素 の 種 類		
	放射性同位元素の数量(ベクレル)		
2 放射性同位元 素装備診療機 器を使用する 医師、歯科医 師又は診療放 射線技師の氏 名等 人体に対して 照射する当該 機器を使用す る場合	氏 名	職 種	放 射 線 診 療 に 関 する 経 歴
3 予 定 使 用 開 始 時 期		年 月 日	

様式第24(第2片)

4 放射性同位元素 装備診療機器 使用室の放射 線障害の防 止に関する構 造設備の概要	主 要 構 造 部 等 の 構 造		耐火構造・不燃材料	
	扉、ふた等外部に通ずる部分のかぎ等			
	標 識 を 付 け る 箇 所			
5 放射性同位元素 装備診療機器 使用室の放射 線障害の防 止に関する予 防措置の概要	間 仕 切 り の 状 況			
	管 理 区 域	管 理 区 域 の し ゃ へ い	管理区域の境界における実効線量 1.3mSv/3月以下・超	
		さ く 等 の 立 入 制 限 措 置		
		標 識 を 付 け る 箇 所		
	機 器 の し ゃ へ い 等	機 器 の し ゃ へ い		
		線源収納容器	耐 火 性	耐火構造・非耐火構造
			取り外し、脱落防止措置	
			そ の 他 の 安 全 対 策	
	標 識 を 付 け る 箇 所			
	注 意 事 項 の 掲 示 等	注 意 事 項 を 掲 示 す る 箇 所		
		敷 地 の 境 界 等 に お け る 防 護		敷地内居住区域及び敷地の境界における 実効線量250 μ Sv/3月以下・超
		患者の被ばく防止（診療により被ばくする放射線を除く。）		病室における実効線量 1.3mSv/3月以下・超
		放射線診療従事者等の被ばく防止等		外部被ばくを少なくする措置有・無
被ばく線量測定器有・無				

添 付 書 類

- 1 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明した放射性同位元素装備診療機器使用室の平面図及び側面図
- 2 しゃへい計算書

記入上の注意

- (1) 管理区域を明示すること。
- (2) 照射方向、線源から計算点までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入すること。
- (3) 機器表面及び使用時において機器から1mの距離における実効線量率を併せて求めること。
- (4) 使用室の画壁等の外側の放射線量率については、画壁等の外側の最も近接した点で、通常の使用状態を想定した時の計算値とその計算式を記入すること。
計算責任者の所属、職及び氏名を記入すること。